



2021年2月10日

各 位

会 社 名 B A S E 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 鶴 岡 裕 太
 (コード番号:4477 東証マザーズ)
 問 合 わ せ 先 取 締 役 C F O 原 田 健
 TEL. 03-6441-2075

2020年12月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年8月14日に公表いたしました2020年12月期通期の連結業績予想と本日公表の実績値において、以下のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 2020年12月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,520 ～8,100	0 ～500	0 ～500	△55 ～394	△2円72銭 ～19円30銭
今回の実績値 (B)	8,288	803	747	584	28円18銭
増減額 (B-A)	188 ～768	303 ～803	247 ～747	190 ～640	—
増減率 (%)	2.3% ～10.2%	— ～60.6%	— ～49.6%	— ～48.2%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	3,849	△441	△455	△459	△38円73銭

2. 差異の発生理由

BASE事業につきましては、流通総額を注文ベースで88,000百万円～96,000百万円(前年同期比104.8%～123.4%増)、決済ベースで78,320百万円～84,480百万円(前年同期比105.8%～122.0%増)と見込んでおりましたが、注文ベースは95,296百万円と業績予想のレンジの範囲内で着地した一方で、決済ベースは87,717百万円と業績予想の上限を上回りました。売上高は6,600百万円～7,080百万円(前年同期比106.3%～121.3%増)、売上総利益は4,390百万円～4,710百万円(前年同期比103.6%～118.4%増)と見込んでおりましたが、決済ベースの流通総額が業績予想の上限を上回ったことに伴い、売上高は7,321百万円、売上

総利益は4,872百万円と業績予想の上限を上回りました。

PAY事業につきましては、流通総額を34,000百万円～38,000百万円(前年同期比42.1%～58.8%増)、売上高を900百万円～1,000百万円(前年同期比39.7%～55.3%増)、売上総利益を90百万円～100百万円(前年同期比33.2%～48.0%増)と見込んでおりましたが、流通総額は36,069百万円、売上高は939百万円、売上総利益は92百万円と、いずれも業績予想の範囲内で着地致しました。

以上の結果、当社グループ全体の通期予想として、2020年12月期連結売上高は7,520百万円～8,100百万円(前年同期比95.3%～110.4%増)、売上総利益は4,500百万円～4,830百万円(前年同期比101.7%～116.5%増)と見込んでおりましたが、BASE事業が業績予想の上限を上回ったことにより、連結売上高は8,288百万円、連結売上総利益は4,992百万円と、いずれも業績予想の上限を上回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、4,000百万円～4,830百万円(前年同期比49.7%～80.7%増)と見込んでおりましたが、積極的なプロモーションを実施したことにより、広告宣伝費は計画の上限に近い水準で着地した一方で、サービス拡大に応じてプロダクト人員増を見込んでいた人件費等は計画を下回ったため、販売費及び一般管理費は4,189百万円と業績予想の下限に近い水準で着地しております。

利益につきましては、営業利益0百万円～500百万円、経常利益0百万円～500百万円、当期純利益△55百万円～394百万円と見込んでおりましたが、BASE事業が業績予想の上限を上回ったことに対し、販売費及び一般管理費が業績予想の範囲内で着地したことで、営業利益は803百万円、経常利益は747百万円、当期純利益は584百万円と、いずれも業績予想の上限を上回りました。

以上